

(認定) (認定上級) 社会福祉士登録番号

氏名

■記入上の注意

- (1)スーパービジョンは、社会福祉士（ソーシャルワーカーを含む。）の個人スーパービジョンとグループスーパービジョンに限ります。なお、更新スーパービジョン（集合研修方式）は除きます。
- (2)スーパーバイザーとしての実績は社会福祉士（ソーシャルワーカーを含む。）に対して3件以上あることが必要です。なお、実習生（学生等）へのスーパービジョンは対象となりません。
- (3)記載欄が狭い場合は適宜拡げてください。

1. 社会福祉士（ソーシャルワーカーを含む。）としてのスーパーバイザー経験

- (1) スーパービジョンを受けた時期、その時の①あなたのスーパーバイザーとしての立場（職位・職種など）とその時のスーパーバイザーの立場（職位・職種など）と②あなたとスーパーバイザーの関係性の概要を、一つ以上、お書きください。

スーパービジョンを受けた時期： 西暦	年	月	～	年	月
<input type="checkbox"/> 認定社会福祉士制度のスーパービジョン	<input type="checkbox"/> 認定社会福祉士制度以外のスーパービジョン				
①スーパーバイザー：					
②スーパーバイザー：					
③関係性の概要：					

- (2) あなた自身がスーパーバイザーとしてスーパービジョンを受けたことによって、学んだ事柄へフィードバックできたことをお書きください。

--

複数の経験を書く場合は、各経験が明確になるように記述してください。

2. 社会福祉士（ソーシャルワーカーを含む。）へのスーパーバイザー経験

- (1) スーパービジョンを実施するうえで重要視していることを次の観点からお書きください。

- ① スーパービジョンの際にスーパーバイザーの成長を促す観点から重要視していること

--

- ② スーパービジョンの際にスーパーバイザーの成長を促すためにスーパーバイザーに求められる

--

- ③ スーパーバイザーの成長を促すためにスーパービジョンの運用で気をつけていること

--

そのように考える理由も含めできるだけ詳しく記述してください

スーパービジョン研修の講師は、実績の対象にはなりません。

(3) **スーパーバイザーとしての実績を3件** 書いてください。実施した内容が、後掲の「スーパーバイザーの指導経験」の項目・指導内容のどれに該当するか、指導内容の番号を記載してください。  
 なお、各実績の内容は、1実績につき1200字以内で記述してください。

項目	記入欄
認定制度との関係	<input type="checkbox"/> 認定制度のスーパービジョン <input type="checkbox"/> 認定制度以外のスーパービジョン
実施期間／実施回数	西暦            年    月～            年    月 (    か月間) /            回
スーパーバイザーとの関係	同一者又は同一グループへの1契約期間・複数回のスーパービジョンを実績の対象とします。
スーパービジョンで ①取り上げた主要な領域、②課題・テーマ、 ③目的・ねらい、④問題、⑤過程（方法と流れ）、⑥効果（何がどうなったのか、変容）、⑦結果（スーパーバイザーからの評価）、⑧スーパーバイザー自身の自己評価	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧  スーパーバイザーであるあなたとの関係をわかりやすく記入してください。氏名や個人が特定できる名称は記入しないでください。  ・スーパービジョンで取りあげた領域と課題・テーマ、目的・ねらい、問題、過程（方法と流れ）、効果（何がどうなったのか、変容）、実施してのスーパーバイザー側からの評価、スーパーバイザーの自己評価について、スーパービジョンのプロセスを含め、 <u>具体的に要点を押さえてスーパービジョンであることがわかるように</u> 記入してください。 ・ <u>スーパーバイザーの援助ケースの詳細ではなく、スーパービジョンについて</u> 記入してください。 ・記載欄は適宜広げてください。（ただし、記入の文字数は1200字以内です。） ・実施してのスーパーバイザー側からの評価、自己評価の善し悪しは、登録審査の結果に影響しません。

項目	記入欄
認定制度との関係	<input type="checkbox"/> 認定制度のスーパービジョン <input type="checkbox"/> 認定制度以外のスーパービジョン
実施期間／実施回数	西暦            年    月～            年    月 (    か月間) /            回
スーパーバイザーとの関係	
スーパービジョンで ①取り上げた主要な領域、②課題・テーマ、 ③目的・ねらい、④問題、⑤過程（方法と流れ）、⑥効果（何がどうなったのか、変容）、⑦結果（スーパーバイザーからの評価）、⑧スーパーバイザー自身の自己評価	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

項目	記入欄
認定制度との関係	<input type="checkbox"/> 認定制度のスーパービジョン <input type="checkbox"/> 認定制度以外のスーパービジョン
実施期間／実施回数	西暦                      年    月～                      年    月 (    か月間) /                      回
スーパーバイザーとの関係	
スーパービジョンで ①取り上げた主要な領域、②課題・テーマ、 ③目的・ねらい、④問題、⑤過程（方法と流れ）、⑥効果（何がどうなったのか、変容）、⑦結果（スーパーバイザーからの評価）、⑧スーパーバイザー自身の自己評価	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

○スーパーバイザーとして指導経験

項目	指導内容
個別レベル	1-1 相談援助の開始に係わる業務
	1-2 理論・モデルに基づくアセスメント
	1-3 アセスメントに基づく目標設定と計画立案
	1-4 サービス調整会議・ケースカンファレンス等による検討及び調整並びにコーディネーション
	1-5 計画に基づく介入の実施とモニタリング
	1-6 相談援助の終結に係わる業務
組織レベル	2-1 組織の立ち上げや事業の開始あるいは継続に関わる業務
	2-2 理論・モデルに基づく組織のアセスメント
	2-3 アセスメントに基づく目標設定と取り組みの企画（計画）
	2-4 組織内外での会議の企画・運営、職員間及び関係部署や関係機関との合意形成及び連携
	2-5 計画に基づく取り組みの実施とモニタリング
	2-6 取り組みの終了に関わる業務
地域レベル	3-1 地域福祉活動・事業の開始に関わる業務
	3-2 理論・モデル注1に基づく地域のアセスメント
	3-3 アセスメントに基づく目標の設定と地域福祉活動・事業の計画立案
	3-4 策定会議、連絡協議会、懇話会等による検討及び調整並びにコーディネーション
	3-5 計画に基づく地域福祉活動・事業の実施とモニタリング
	3-6 地域福祉活動・事業の終結に関わる業務